

# SAGA2020 S S P杯佐賀県高等学校スポーツ大会

## 【柔道競技】新型コロナウイルス感染症対策申し合わせ事項

### 1. 会場への入場を認める者（観客以外）

- (1)柔道専門部・審判員などの役員及び補助員、当該競技参加校の部顧問（外部指導者含む）、選手を含む部員、引率者（保護者を除く）、来賓など。
- (2)柔道専門部から入場を許可された者。（報道関係者、参加校の写真部員など）

※感染症対策の観点から、参加校の一般教職員、一般生徒、一般観客、保護者については基本的に会場への入場を認めない。

※入場を認められた者には、4以降の感染症対策項目について遵守を呼びかける。

### 2. 会場入場の条件（観客以外）

1に該当する者であっても、以下の事項に該当する者は会場への入場を認めない。

- (1)保護者同意書（様式1）を学校長へ提出していない部員。
- (2)体調チェック表（様式2）を競技専門部に提出していない者。
- (3)体調チェック表（様式2）で、いずれかの項目に×がついている者。
- (4)過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は該当在住者との濃厚接触がある者。

### 3. 観客の入場について

- (1)密を避けるために、会場内は1で認められた者以外の入場を不可とし、無観客とする。

### 4. 感染症防止について

#### ①試合前

- ・専門部で準備できるものには限界があるので、各学校で必要な新型コロナウイルス対策用品は準備すること。
- ・自分の学校や自宅を出発する前と、試合の前に必ず検温を実施すること。
- ・会場敷地内に入る際には、マスクを必ず着用すること。（ウォーミングアップ、試合出場時を除く）
- ・会場到着後、本部に体調チェック表（様式2）を学校ごとにまとめ、提出すること。
- ・試合会場及びに選手待機場所に入るときには、入口で必ず備え付けの消毒液で消毒を行うこと。
- ・会場内では、柔道専門部・審判員、役員及び補助員等は必ずマスクを着用すること。
- ・ウォーミングアップの時間を学校ごとに設定するので、時間厳守で密にならないように行うこと。
- ・計量時は、選手同士の間隔をあけること。
- ・個人試合では、該当階級の選手のみ柔道場に入場し、それ以外の選手は、選手待機場所で待機すること。
- ・団体試合では、該当学校、次試合学校のみ柔道場に入場し、それ以外の学校は選手待機場所で待機すること。

- ・選手待機場所では、選手同士が間隔をあけ、密を避けること。
- ・参加者はマイタオル、マイボトルを持参し、タオルやボトルの共用をしないこと。
- ・気温が高くなる時期であることを踏まえ、熱中症対策を講じるとともに、注意喚起を行う。

## ②試合中

- ・監督、待機選手は、必ずマスクを着用し、声を出しての指示や応援は自粛すること。
- ・監督、選手は専門部の指示に従うこと。
- ・会場等で急に風邪症状の生徒が出た場合は、当該校職員が保護者及び学校管理職に連絡し帰宅させる。その場合、他の生徒等への健康観察を徹底させること。

## ③試合後

- ・個人試合では、試合が終了した選手は、更衣後、速やかに帰宅すること。
- ・団体試合では、試合が終了した学校は、更衣後、速やかに帰宅すること。
- ・ベスト4に進出した学校、選手は表彰式があるので、柔道着のまま参加すること。
- ・会場内のゴミ箱の使用を禁止し、ゴミの持ち帰りを徹底させること。

## 4. 大会前に学校内で感染が判明した場合

- (1)当該校の臨時休校の措置が取られた後、保健福祉事務所と教育委員会（私立学校は当該校）が協議のうえ、学校の再開が決定される。臨時休業の措置が取られている間は、全ての競技において当該校は大会に参加できない。

## 5. 大会開催期間中に感染が判明した場合

- (1)大会開催期間中に感染が判明した場合は、競技を即時中止する。
- (2)当該競技参加者が保健福祉事務所などの聞き取り等に協力し、その指示に従うとともに、感染拡大防止に努めるよう指導する。